



2019年の一致祈禱集会  
(渋谷教会)



## 2021年 キリスト教一致祈禱週間 2021年1月18日～25日

わたしの愛にとどまりなさい  
そうすれば、あなたがたは豊かに実を結ぶ

(ヨハネ 15・5-9 参照)

### 日本キリスト教団聖ヶ丘教会について

聖ヶ丘教会は1889年(明治22年)2月、アメリカのクリスチャンチャーチから派遣されたジョーンズ宣教師によって麻布に最初の教会が設立され、1960年に南平台町の現在地に教会堂を献堂し、今にいたります。

カトリック渋谷教会との最初の祈りの集いが行われたのは、1967年(昭和42年)1月22日のことでした。その後、四十数回にわたり祈りの集いが続けられてきたことは大きな感謝です。



藤井清邦牧師

岡山県井原市生まれ。広島県福山市で育つ。東京神学大学・同大学院修士課程前期修了。神学修士(組織神学)。日本キリスト教団銀座教会、日本キリスト教団長崎古町教会(長崎市)を経て、2018年より聖ヶ丘教会牧師。長崎キリスト教協議会委員長(2012～2017)。両親はカトリック。趣味は自然観察をはじめ多数。

### カトリック渋谷教会について

教会は駒場東大前にあった池尻教会を母体に1960年11月22日に南平台に献堂されました。小教区とドミニコ会カナダ管区の兄弟たちの修道院から成っています。



田中信明神父

1950年北海道室蘭市生まれ。1973年から修道生活に入る。コレージュドミニカン・ド・フィロソフィ・エ・ド・テオロジー(カナダ・オタワ)卒業。1985年司祭叙階 京都で教職、2000～2012年ドミニコ会カナダ管区日本地区長、2011年～渋谷教会主任司祭。趣味：読書と音楽鑑賞(昼はクラシック夜はジャズ)、自転車で散歩。

イエスによって与えられた教会の交わり、カトリック渋谷教会と日本キリスト教団聖ヶ丘教会の祈りの集いは、昨年1月で43回目になりました。その間には、祈りの集いだけでなく、教会の交わりが豊かに重ねられてきました。今年は、いずれかの教会堂に集うかたちで、キリスト教一致祈禱週間の集いを行うことはできませんが、キリストのからだである全教会のため、また新型コロナウイルス感染症のために痛みの中に置かれたすべての人々のために共に祈りましょう。そして、主にあって共に歩みましょう。主の平和がいつも皆さんと共にありますように。

日本キリスト教団聖ヶ丘教会 主任牧師 藤井清邦  
カトリック渋谷教会 主任司祭 fr. 田中信明 op

## わたしの愛にとどまりなさい そうすれば、あなたがたは豊かに実を結ぶ (ヨハネ 15・5-9 参照)

コロナ感染拡大を防ぐ「三密＝密集・密閉・密接」を避けることは教会の基本的性格である皆がともに集う「交わり」を不可能にします。礼拝やミサをはじめ諸活動は休止状態です。「感染しない」「感染させない」ために賢明な方法が「三密」を避けること、手指の消毒、マスクをすることなどを日常生活に取り入れることです。だれもが「感染する」「感染させる」可能性を等しく有しています。「他者への配慮」が必要です。しかし、「感染者」をとがめたり、ののしったり、マスクをしていない人を過剰に「さばいて」はなりません。「お互いさま」のコミュニティー感覚で危機感と緊張感をもって「お互いに支え合う」配慮が必要です。また、「感染した」としても周囲に「迷惑をかけた・すいません」と謝罪する必要はありません。人道的にも「感染者」を隔離する（これは分離するあるいは隠すという意味が強い）のではなく病者として「介護する」配慮を望みます。

わたしたちは顔を合わせ言葉を交わす物理的な接触の場での「交わり」を望みます。一方、必ずしも時間や場所を共有しない目に見えない結びつきである「つながり」をも大切にします。むしろ離れている方が「存在」を強く感じられることもあります。まだ会ったこともない人と「つながる」ことも可能です。時間や場所を隔てた昔の人と本や音楽を通じて「つながる」ことも可能です。

「人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたはなにもできないからである。」(ヨハネ 15・5)。これはご存知の「ぶどうの木」のたとえ話。2021年の「キリスト教一致祈禱週間」の聖書テキスト(ヨハネ 15・1-17)です。この「つながり」がコムニオン(信仰を同じくする者の霊的交わり・共同体・聖体拝領)の根底にあるのです。ヨハネ福音書で「とまる」「つながる」と訳される動詞「とどまる」は重要です。この動詞は、神とイエス、イエスとわたしたち(教会)、イエスを介して神と教会、天上の神とこの世、さらに終末の時と「今・ここ」のこの時を「つなぎ」ます。さらにイエスが「どこから来てどこへ行くか」わたしたちが「どこから来てどこへ行くか」を「つなぎ」、イエスが「だれであるか」とわたしたちが「だれであるか」を明らかにする「聖霊のはたらき」へとつなぎます。「ぶどうの木」のたとえば「木」と「枝」の「つながり」によって誕生する信仰共同体である教会の中心に「神のいのち」「聖霊」のはたらき・息吹があることを思い出させてくださいます。「星の王子さま」が言うように「大事なものは目に見えません」。生物を生み育てるいのちや栄養は目に見えません。教会のいのち・御父と御子の親しみに存する愛・いのち・聖霊は目に見えません。

イエスの愛を実行している信仰共同体はイエスとの親しみに存する愛とことばによってつながっています。だから弟子です。さらに「友のために自分のいのちを捨てること、これ以上に大きな愛はない。わたしの命じることを行うならば、わたしの友である。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである」とは「父とわたしが一体である」ことと同様に「わたしとあなたがたは一体である」ということでしょう。しかし、それはわたしたちが選んだのではなくイエスがわたしたちを先に選んだのです。常にイエスに主導権があります。

父である神と御子イエスの親しきは「愛と聖霊」、そしてイエスとわたしたちの親しきは「愛と友となること」です。イエスを介して神を信じるわたしたちは神と御子がそうであるように「互いに愛し合う」友となることに招かれています。「ぶどうの木」のたとえでイエスを介して神とわたしたちが「友情関係」を結ぶよう招かれています。教会一致の根底にあるのは「友情」です。

カトリック渋谷教会主任司祭 fr. 田中信明 OP

### 祈り

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、いつも皆さんと共にありますように。

兄弟姉妹の皆さん、2021年キリスト教一致祈禱週間のテーマは「わたしの愛にとどまりなさい。そうすれば、あなたがたは豊かに実を結ぶ」です。

このテーマはスイスのグランシャン共同体(Communauté de Grandchamp スイスのヌシャテル州アルーズにある諸国・諸教会一致の修道生活共同体)のシスターたちによって選ばれました。

平和のうちに祈りましょう。

農夫としてわたしたちを育て、愛を注いでくださる主よ、

ぶどうの木につながれた一つひとつの枝、一人ひとりの人間の美しさに目を向けるよう招いておられます。しかし、わたしたちは幾度となく、他者とのちがいを恐れてしまいます。

自分自身の中に閉じこもり、主への信頼は揺らぎ、わたしたちの間に憎しみがつのります。

わたしたちのもとに来て、わたしたちの心を再び主に向けてください。

主のゆるしのうちに生きるものとしてください。

み名をともにたたえることができますように。

—世界のただ中で賛美するよう招いておられる神に、栄光がありますように。

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ」と主は言われます。

神との友情にとどまるように招いておられます。主の招きにこたえられますように。

—わたしたちを神の友としてくださる神に感謝します。

わたしたちを一つにし、一本のぶどうの木にしてくださいる主よ、

エキューメニカルな集いにおいて喜びのうちに

一つの心で主を賛美することができますように。

—わたしたちの心の喜びは神のうちに。

いのちの神よ、人をご自分にかたどり、ご自分の似姿としてお造りになりました。

さまざまな文化、信仰表現、伝統、民族性をたまものとして与えてくださったことに賛美します。

傷ついた被造物の怒りの声と、気候変動やコロナ感染によって苦しんでいる人々の叫びを聴いてくださいます。新しい生き方ですべて調和のうちに生きることを学ぶことができますように。

—平和の神、愛の神、わたしたちの希望は神のうちに。

いのちの大切さゆえに医療に従事している方々を顧みてください。

人々の救いのための献身が報われますように。

—主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

ひとりひとりの言葉・声にならない沈黙のうちの祈りに耳を傾けてください。

ひとりひとりが主のあわれみによって満たされますように。

—キリエ エレイソン(主よ あわれんでください)